

# 市立病院の建て替えと今後の地域医療

**問** 市長が病院施設の建て替えを決めた理由は。

**答** 当初は市役所庁舎の建て替えによる財政面での配慮から修繕による使用を考えたが、現状施設の状態確認や関係者からの意見聴取、新たな感染症への対応や災害対策から建て替えを決めた。

**問** 新病院建設の今後の行程は。

**答** 建設準備室で先行事例の研究を進め、並行して6月定例会後の早い時期に建設計画策定委員会を発足。6年度内に3～5回の会合を開き、基本構想を決定したい。他の公立病院の事例から、完成までは5～8年を予定している。

**問** 地域医療における新病院の位置付けと経営形態は。

**答** 広域圏での中核的な二次救急医療機関として、地域で必要とされる高度医療や不採算・特殊部門も担うが、経営面での広域化は近隣自治体の財政状況等を勘案しながら慎重に検討していきたい。

**● 脱炭素化に向けての取り組み**

**問** 市が環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金に選定され

まほろば

たかの 高野

よしお 佳男



たが、今後の取り組みは。

**答** 屋根置き太陽光発電設備の導入補助事業を、6年度から5年間実施し、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロの達成を目指す。



老朽化が進む市立病院の南館(右、築44年)と本館(左、同34年)

◎奨学金返還支援事業

# 带状疱疹ワクチン接種に市の助成を

**問** 带状疱疹は、チクチクした痛みに続き、体の右側または左側のどちらか一方に、赤く小さな水ぶくれを伴う発疹が帯状に現れる病気で、早めに治療すれば完治するが、場合によっては夜も眠れないほどの激痛が後遺症として残る。宮崎県が調査した発症率データによれば、年々増加傾向にある。50歳以上であればワクチン接種によって予防することが可能な病気であり、市民からワクチン接種費用の助成を求める声が届いている。ワクチン接種費用の助成については、埼玉県下63市町村中、半数以上の33の自治体において、助成が実施されている。市の考えは。

**答** これまで国の審議会における定期接種化の検討内容を注視する中で、秩父郡市医師会および秩父地域4町と情報交換を行ってきた。接種費用の助成を行う自治体が増えていることは承知しているが、6年度、他の任意予防接種費用の助成を新たに開始したため見送った経緯がある。引き続き、助成の実施について検討を進めていく。

**問** 近隣の自治体である横瀬町、皆野町、小鹿野町においては、6

無会派

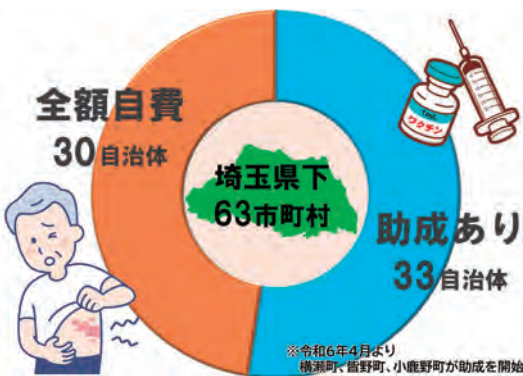
くろさわ 黒澤

ひでゆき 秀之



年4月からワクチン接種費用の助成が開始されている。再度、带状疱疹ワクチン接種費用の助成を早急に実施するよう要望する。

**答** 近隣4町との協議の中で、6年度は1市4町で、優先的に助成を開始した任意予防接種に違いが生じてしまった。市では、6年度の助成開始を見合わせたところであるが、7年度から带状疱疹ワクチンの接種費用の助成が開始できるように、現在調整を実施している。



带状疱疹ワクチン接種費用の助成状況

◎障がいのある方への施策他

# 「歯周病検診」と「認知症予防」

**問** 歯周病菌に含まれる異常タンパク質が、長年にわたって脳に蓄積されることで、認知症の発症に繋がること、2020年に九州大学などの研究チームにより解明された。市で行っている歯周病検診の現況は。

**答** この検診は秩父郡市歯科医師会との委託契約で、市内40か所の指定医療機関で受診が可能。自己負担金千円で利用でき、歯周病の所見と必要な指導が受けられる。受診者数は、年間4〜5人程度と伸び悩んでいる。

**問** 歯周病検診は、保健センターのみでの受け付けだが、市民が気軽に申し込みができるよう、市役所の保健医療部で、受け付けすることはできないか。

**答** 現在、保健医療部で受付可能なのは大腸がん検診のみで、その他の検診については、説明が必要のため、支所も含めた保健センター4か所のみで受け付けている。歯周病検診の受診者を増やしていく方法と共に、受診奨励の効果的な方法や、申込方法の簡素化に向けて検討したい。

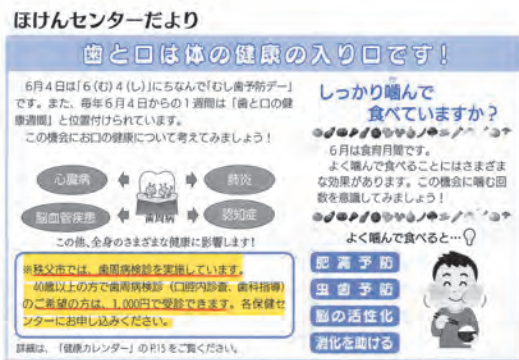
**現在、歯周病検診の対象者は**

市民クラブ 宮前 昌美



40歳以降となっていて、できるだけ早い時期から歯周病の怖さを知り、正しいブラッシングを身に付け、習慣化する必要があると思われる。30歳以降に早めることで、妊婦の歯科検診も含まれ、ネウボラの実施に繋がるのでは。

**答** 6年4月に、国から歯周病検診の対象年齢の引き下げの通知もあり、秩父郡市歯科医師会にも相談を開始している。



「歯周病検診」の詳細は、市報6月号をご覧ください。

◎単身高齢者の終活支援  
◎影森グラウンド・多目的グラウンド関係

# 秩父鉄道第4種踏切道への対応

**問** 秩父鉄道は、4月25日付けで「第4種踏切道については、引き続き「廃止」を原則とし、「廃止」に向け道路管理者等との協議を加速する。あわせて、第4種踏切道から第1種踏切道への転換に係る初期投資費用および維持管理費用の負担軽減等を関係者と協議していく」と公表した。市には、皆野町境の黒谷地域から荒川三峰口駅までの間に30か所の第4種踏切道があるが、その対応について伺う。

**答** 6年4月に高崎市内の第4種踏切で発生した死亡事故を受け、秩父鉄道は、根本的な解決に向け関係者との協議を継続、加速するとともに、緊急追加対策を実施するために「第4種踏切については廃止を原則とし、廃止に向け道路管理者等との協議を加速する」との基本方針を発表した。過去には市内の第4種踏切においても死亡事故が発生しており、市としても、秩父鉄道と協力しながら踏切の安全性の向上に取り組んできたが、今回のこの基本方針に基づき、改めて秩父鉄道から市に対しても、協議の申し入れがあった。市は、秩父鉄道と沿線自治体を組織する

市民クラブ 浅海 忠



「秩父鉄道整備促進協議会」に入っており、毎年、秩父鉄道が行う施設整備についても費用の一部を負担している。このため、第4種踏切の改善に向けても、協議会に加入している他自治体との意見交換も行いながら、秩父鉄道と協議を進めたい。



市内にある第4種踏切（警報機も遮断機もない無人踏切）

◎姉妹都市の交流に基づいた、防災・観光の複合的な連携の提案

# 緊急避難に「着脱けん引式車いす補助装置」導入を



公明党 本橋 貢  
もとはし みつき

**問** 災害時に要介護者の命を守る「着脱けん引式車いす補助装置」を市として導入できないか。防災訓練等での補助装置の体験や、福祉事業所等の避難訓練にも貸し出し、いざという時に活用できる取り組みや、車いすの貸出を行っている「芝桜の丘」や観光施設等(西武秩父駅から秩父神社、秩父ミューズパークスポーツの森)などで補助装置を導入し、新たな観光客誘致を検討できないか。さらに、福祉事業として「着脱けん引式車いす補助装置」を必要とする方のために、日常生活用具の給付対象とすることはできないか。給付対象とすることで、対象者は自己負担は原則1割で購入できる。導入についての見解は。

**答** 着脱けん引式車いす補助装置は、車いすを利用していただく方の災害時の安全確保に有効な装置である。導入を検討する場合は、市職員や町会で実施する防災訓練、福祉施設が実施する避難訓練などで試験的に使用し、感想や必要性を調査・研究する。「芝桜の丘」での車いす補助装置の導入については、来園者の安全確保を優先した

ため、慎重に検討する。日常生活用具としての給付については、必要としている方の現状を確認するとともに、介護されているご家族からの要望を踏まえ、調査・研究を進める。



着脱けん引式車いす補助装置

- ◎ 国保特定健康診査
- ◎ 高齢者の肺炎予防
- ◎ 医療的ケア児・者とその家族の支援

# 子どもにやさしいまちづくり事業の推進



公明党 大久保 進  
おおくぼ すずむ

**問** 地域ぐるみで子どもの権利についての教育や啓発活動を積極的に推進すべきと思うが、市の考えは。

**答** 市では「こどもとともに」という姿勢で、子どもや若者を権利の主体として認識し、その多様な人格・個性を尊重し、権利を保障し、子ども・若者の最善の利益を図ること、また、子どもや若者、子育て当事者の視点を尊重し、その意見を聴き、対話しながら、ともに進めていくことに心がけていきたいと考えている。社会全体で子どもと子育てを応援し「子育てしやすいまちづくり」・「子どもにやさしいまちづくり」を積極的に取り組んでいきたいと考える。

## ● 民間事業者と連携した薬品等の移動販売

**問** 移動販売は食料品や日用品が主であるが、ドラッグストアによる移動販売は医薬品の販売も行っている。車両モニターが設置されており、店舗の薬剤師や管理栄養士との健康相談が受けられるなどの付加価値もある。横瀬町と長瀬町でも運行しているので、市とし

でも導入できないか。

**答** モニター搭載の販売車を市で運行するには、市民ニーズの調査や、モニターを利用するための通信環境のチェック等が必要になる。

## ● 非正規公務員の賃上げ

**問** 遡及改定は実施されているか。  
**答** 常勤職員に比べ、年度途中で頻繁に採用や退職が生じること、また、時間単価を基礎としており、勤続年数や職種、勤務時間による差額計算などの手続きが煩雑であるため、遡及改定はしていない。



横瀬町で運行しているドラッグストアによる移動販売

# 児童の安全確保にむけて



まほろば 宮川 浩司

**問** 通学時の児童の安全対策の現状は。

**答** スクールガードや教職員による通学路の点検、登下校の指導や保護者への引き渡し訓練を定期的に行っている。また、児童自らが安全マップを作ることで、危険を回避する能力を育成している。そのほか、集団登校や一斉下校を実施するようにしている。

**問** 品川区で採用している児童見守りシステム「まもるっち」のよくなものを採用できないか。

**答** 品川区の担当者に話を伺い、システムの説明を受けた。優れた部分があることは理解しているが、導入には予算も含めて研究する必要がある。今後も検討を続ける。

## ふるさと納税

**問** ふるさと納税の専門職員の役割は。

**答** 寄附額を増やすためには何が有効かを調査し、そのほか返礼品の新規登録などを行う。

**問** 寄附者のリピーターを増やすための方法は。

**答** 再度の寄附を促すための広告や通知を実施し、魅力的な返礼品

## 市立病院の現状

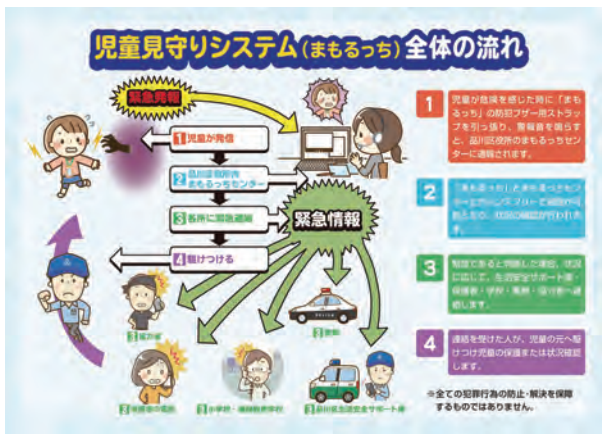
**問** 市立病院の経営状態は。

**答** 4年度は一時的に赤字化したが、それまでの7年間は赤字であり、今後も厳しいと予想する。

**問** 経営改善の方向性は。

**答** 医師、看護師を確保して入院収益を増やすことを目指し、そのほか不要な経費の削減に努力する。

の発掘や開発が必要だと考える。



出典：品川区ホームページより

# 非正規職員の処遇改善を



無党派 金崎 昌之

**問** 働きかけは。

**答** 秩父太平洋セメントと協議していききたい。

## 県史跡飯塚・招木古墳群

**問** 土地所有者の高齢化で、わずかな補助金のみでは管理が行き届かず「葛のつるに古墳が浸食され、史跡の現状を維持できない」と声が上がっている。古墳群の保全・管理の今後は。

**答** 古墳所有者等と検討し「市文化財保存活用地域計画」の中で課題の解決に取り組んでいきたい。

## 武甲山の環境保全

**問** 武甲山の武山市有林の売却代金の一部を基金として積み立てた市の奨学金制度である「武山育英資金」は、市の未来を担う子どもたちの育成に今なお大きな貢献を続けている。武山市有林売却時に太平洋セメントと交わした契約書に基づき、武甲山の景観・環境保全等に、議会として関心を持ち続けていることを示す現地視察の



保全・管理が待たれる飯塚・招木古墳群

# 秩父地域の医療

**問** 地域医療連携推進法人とはどのような制度であるか。またこの制度は秩父地域でどのように活かされることが望ましいか。

**答** 地域での医療機能の分担や連携を図る目的で、医療機関や介護施設などを運営する設立母体の異なる法人が共同参画する法人制度で、合併とは異なり、各法人の独立性を維持しながら参加法人との連携強化が可能になる。制度の導入を進める場合は、メリットだけでなく、デメリットや課題についても研究を進め、有効性を慎重に見極めていく必要があると考える。

**● 全国山・鉾・屋台保存連合会の事務局**

**問** 5年度に連合会の事務局を秩父市から富山県高岡市に移管した経緯は。

**答** 平成28年12月の「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録を契機に、連合会の事務局を独立組織にするなど組織の在り方について見直す機運が出てきた。加えて、5年5月に文化庁が京都市に移転したこと、コロナ禍以降のリモート環境の普及により対面

新政ちちぶ

清野 和彦



でなくても会議や打ち合わせが可能になったことなど、ここ数年で連合会を取り巻く状況は大きく変化した。こうしたことを踏まえて、市が事務局を担う理由がなくなつたことから、協議の結果、5年9月に行われた連合会総会にて、事務局を会長の所属する高岡市へ移管した。



地域医療連携推進法人の仕組み

- ◎ 女性支援・困難な問題を抱える女性への支援・リプロダクティブヘルス/ライツ
- ◎ 文化芸術の振興

# 消滅可能性自治体に位置付けられた秩父市

**問** 出生数と今後の推移予想は。

**答** 令和4年が271人、5年が262人、6年は200人台前半となるのが想定される。今後の出生数の推移予想として、市の0〜4歳の推計人口は2020年比で、2040年では約42%減、2050年では約52%減となっており、2050年の出生数は160人程度と考えられる。

**問** 課題の把握と今後の展望は

**答** 人口統計の分析結果から、自然減が主な原因と把握している。死亡数の増加に対して出生数が著しく減少しており、晩婚化・未婚化に加え、若年女性の減少も関係していると考えられる。今後の展望として、6年3月に策定した第3期秩父市総合戦略に沿って各種事業を展開するとともに、若年女性の減少対策として、女性職員を中心としたプロジェクトチームを立ち上げ、意見やアイデアを募り、今後の市の政策に反映させたい。

**● ピンクリボン運動の推進**

**問** 尾田蒔中学校で開催した「がん教育、生命(いのち)の授業」の今後の実現性は。

新政ちちぶ

小松 穂波



**答** 授業を通じて、児童生徒や教職員は、がんについての正しい知識を身につけ、理解を深め、自他の命の大切さを実感できたと考える。6年度は12月に荒川中学校で開催する。

**● 学校給食**

**問** 市長の公約として挙げている給食費無償化の実現性は。

**答** 現在の補助率は55%であり、財政状況を見極め、検討していく。



尾田蒔中学校で行われた、NPOくまがやピンクリボンの会による「生命(いのち)の授業」

◎ 防犯対策

# 全国植樹祭

**問** 7年の全国植樹祭開催地として、5月4日にプレイベントである「秩父グリーンフェスタ」が開催され、多くの市民が訪れた。全国植樹祭への機運が高まってきた感覚がある。しかし、植樹祭式典当日は、会場へ市民が立ち入ることとはほぼ不可能と考えるが、市民に対しては、機運の高まりが無駄にならないよう、パブリックビューイング等での観覧の計画はないのか。

**答** 式典へ出席できる市民は非常に限られた人数になると考える。式典会場に入場できない市民に配慮し、パブリックビューイングを市内の身近な場所に設置するなど、開催理念を共有できる工夫が必要と考えている。会場の設置場所、映像の利用、人員の確保など課題はあるが、検討を続けていく。

**問** 全国から多くの招待客がお越しになるが、秩父地域だけでは宿泊がまかなえないため、県南部に宿泊し、バスで会場入りすること。セキュリティの関係で、出発地と会場の直行直帰と考えられるが、秩父地域でお土産を購入する余地はないのか。

市民クラブ

赤岩 秀文



盛況に開催された「秩父グリーンフェスタ」

**答** 県策定の基本計画では、これまでの大会と同様に、セキュリティ確保の観点から、指定宿泊場所、指定集合場所からバスで会場入りし、式典終了後は、バスで出発地へ帰着、もしくは最寄り駅へ向かう計画であるが、ルート等の詳細は未定である。式典会場内には「おもてなし広場」を設置し、式典の前後に県内の森林林業、特産品、飲食物の紹介をするコーナーを設ける計画となっている。県外参加者向けの森林林業の視察の計画もあるが詳細は未定である。

# 永年勤続表彰

去る4月22日開催の埼玉県市議会議長会および5月22日開催の全国市議会議長会の各総会において、永年勤続表彰が行われ、次の方々表彰されました。

「埼玉県・全国市議会議長会」

表彰 25年以上

出浦 章恵 議員



「埼玉県・全国市議会議長会」

表彰 20年以上

笠原 宏平 議員



「埼玉県・全国市議会議長会」

表彰 10年以上

黒澤 秀之 議員



清野 和彦 議員



赤岩 秀文 議員



# 秩父市議会を傍聴してみませんか？

市議会は、年4回(3月・6月・9月・12月)に定例会を開催しています。  
(特に必要がある場合は、臨時会が開催されます。)  
市政を知る機会として、足を運んでみませんか？お待ちしております。

## 》傍聴席のご案内



- 議会は市役所4階の議場で開催されます。
- 傍聴は無料です。予約は必要ありません。
- 6月定例会で傍聴規則が改正され、受付票の記入が不要となりました。  
「傍聴受付」にて、資料を受け取り、傍聴席にお入りください。  
(傍聴席は議場後方になります。定員を超えた場合は、ロビーのモニターでの傍聴となります。)

## 》傍聴の際の注意事項



- ・発熱などの風邪症状がある方や体調が優れない方は、傍聴をご遠慮ください。
- ・傍聴席では静粛をお願いします。
- ・飲食、喫煙はできません。
- ・携帯電話、スマートフォンの電源はお切りください。
- ・原則として、写真・ビデオ撮影や録音はできません。
- ・傍聴席の出入りは自由です。

## 委員会の会議録を ホームページで公開します

6月定例会分から、ホームページで、本会議のほか、委員会の会議録の閲覧もできるようになります。

閲覧できる委員会は、常任委員会(総務・まちづくり・文教福祉)および決算審査特別委員会です。なお、公開時期は8月下旬となります。



## 9月定例会の予定

日程	議事
8月28日(水)	開会、議案説明
9月2日(月)	議案に対する質疑
3日(火)	まちづくり委員会
4日(水)	文教福祉委員会
5日(木)	総務委員会
9日(月)	一般質問
10日(火)	
11日(水)	
18日(水)	委員長報告、採決、閉会

※各日、午前10時開会予定です。  
※議場は、本庁舎の4階です。  
※日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合があります。

## 編集後記

6月定例会では11人の議員による一般質問が行われ、市政に対する活発な議論が行われました。また、市議会だより編集委員も新たな委員構成となりました。よりよい紙面づくりに力を合わせてまいります。

先日、ストックホルム国際平和研究所が世界の核弾頭数を発表しました。核保有国のロシア、米国、中国、フランス、英国、インド、パキスタン、イスラエル、北朝鮮の9か国の核弾頭数は推定12121発。国際非政府組織「核兵器廃絶国際キャンペーン」は、昨年の核兵器関連支出は保有9か国で約14兆円超に上るとしています。各国は、この予算を使って、核兵器廃絶、環境問題、食糧・エネルギー問題、貧困等の対策を講ずるべきではないかと考えます。

令和6年7月 本橋 貢 記

## 編集委員

委員長  
副委員長  
委員

本橋 貢  
内田 均  
出浦 章  
黒澤 秀  
小松 穂  
宮前 美  
宮川 波  
高野 浩  
浅海 忠